チェックシート

横　葺　構　法

中　間　検　査

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　　分 | チ　ェ　ッ　ク　ポ　イ　ン　ト | 良 | 否 | 改善方法 |
| 実測と  下地の確認 | 母屋の断面寸法、間隔と、母屋と梁の接合状態はよいか。 |  |  |  |
| けらば部の母屋つなぎ材又は登り胴縁の有無とその状態はよいか。 |  |  |  |
| 棟部、谷部の母屋の状態はよいか。 |  |  |  |
| 受け梁の中断に対する適切な処置がされているか。 |  |  |  |
| 梁上面の勾配が屋根勾配と等しくなっているか。 |  |  |  |
| 屋根面の障害物に対する適切な梁が取り付けられているか。 |  |  |  |
| 下葺 | 野地板が木製の場合は、十分な断熱性能の有る断熱処理が施されているか。 |  |  |  |
| 鉄骨下地の場合、屋根強度と断熱処理が行われているか。 |  |  |  |
| コンクリート構造の場合、横葺本体を葺いていくための金属たる木等がアンカーボルトや適当と思われる釘等で強固に固定してあるか。 |  |  |  |
| 野地面上に、十分な防水性を有する防水シートを重ね、長辺部100㎜、短辺部200㎜以上で横方向に敷きこまれているか。 |  |  |  |
| 谷部の防水は、平面以上の防水対策がなされているか。 |  |  |  |
| 材料 | 板厚・素材・メーカー等は、仕様書の通りの物が使用されているか |  |  |  |
| 構成部材及び構成部品はメーカー等の指定のものが使用されているか。 |  |  |  |
| 下地や屋根形状にあった屋根材が使用されているか。 |  |  |  |
| 屋根材に、ひずみやたわみ、又傷等がないか。 |  |  |  |
| 墨出し | 割付け、墨出しが正確に行われているか。 |  |  |  |
| 施工 | 壁立上り部分等には、雨漏れ対策を十分考慮した捨て板が取り付けられているか。 |  |  |  |
| 割付け、墨出しに従って葺だされていて、通りよく取り付けられているか。 |  |  |  |
| 葺板は、鋼板製たる木上、又は、野地面に吊り子を使用して、妥当なタッピングビス、釘等で固定してあるか。 |  |  |  |
| 葺板の継手部分は、捨て板を使用して十分な結合がなされているか。 |  |  |  |
| 継手の位置は適切にしてあるか。 |  |  |  |

㈱全日本建築板金保証センター

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 支部長印 | 保証委員長印 | 担当事務局印 |
|  |  |  |

鳥取県支部長　殿

|  |  |
| --- | --- |
| 工事現場名 |  |
| 受　付　番　号 | 第　　　　　　　　　号 |
| 検　　査　　日 | 平成　　年　　月　　日 |
| 再　検　査　日 | 平成　　年　　月　　日 |
| 提出日 | 平成　　年　　月　　日 |
| 工事完成予定日 | 平成　　年　　月　　日 |

上記項目に従い検査を行ったことを認めます。

検査員資格番号　第　　　　　　　　号

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　検査員氏名

チェックシート

横　葺　構　法

完　成　検　査

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　　分 | チ　ェ　ッ　ク　ポ　イ　ン　ト | 良 | 否 | 改善方法 |
| 軒先納め | 唐草の形状は、軒樋や軒先の状態を考慮して曲げ加工してあるか。 |  |  |  |
| 軒先唐草は、下地にたる木間隔に合わせ、釘又はねじ止めする。釘は、長さ32㎜程度の亜鉛めっき釘、ねじは、軸径3.9㎜程度のドリリングタッピングねじ、もしくはこれと同等以上の物が使用されているか。 |  |  |  |
| けらば納め | 唐草には、葺板が充分にはめこまれているか。 |  |  |  |
| 屋根壁の関係を考慮して曲げ加工したけらば唐草を軒先納めに準じて取り付けてあるか。 |  |  |  |
| けらばの納め方は、屋根メーカーもしくは屋根施工者の使用としているか。 |  |  |  |
| 棟包み納め | 葺板の水上端部には水返しをつけ、吊り子止めがしてあるか。 |  |  |  |
| 吊り子は葺板と同種同厚の板で、幅30㎜程度の物を、間隔455㎜以内に取り付ける。 |  |  |  |
| 棟包みは、棟板に32㎜程度の亜鉛めっき釘で、間隔455㎜以内に止めてあるか。 |  |  |  |
| 棟包みは、屋根材の面まで折り下げてあるか。 |  |  |  |
| 継手はハゼ組みとしてあるか。又は、継ぎ手部分には上下をあだ折してシールが施してあるか。 |  |  |  |
| 水上の雨押え | 雨押えの水下側の納めは、棟包みに準じてあるか。 |  |  |  |
| 水上側の端部は、壁際で高さ120mm以上たち上げてあるか。 |  |  |  |
| 流れ方向の  雨押え | 雨押えと屋根葺板との納め方は、漏水がなく、且つ、葺板の伸縮を吸収出来る方法がなされているか。 |  |  |  |
| 壁際の納め方は、水上部分の納め方に準じているか。 |  |  |  |
| シーリング | 各部分の必要な箇所へのシールは出来ているか。 |  |  |  |
| その他 | 屋根材の表面に傷はないか。又、タッチアップ等の補修がしてあるか。 |  |  |  |
| 屋根の上や関係する場所の清掃は行われているか。 |  |  |  |

㈱全日本建築板金保証センター

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 支部長印 | 保証委員長印 | 担当事務局印 |
|  |  |  |

鳥取県支部長　殿

|  |  |
| --- | --- |
| 工事現場名 |  |
| 受　付　番　号 | 第　　　　　　　　　号 |
| 検　　査　　日 | 平成　　年　　月　　日 |
| 再　検　査　日 | 平成　　年　　月　　日 |
| 提出日 | 平成　　年　　月　　日 |
| 工事完成予定日 | 平成　　年　　月　　日 |

上記項目に従い検査を行ったことを認めます。

検査員資格番号　第　　　　　　　　号

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　検査員氏名